

(様式第1号)

自己評価及び外部評価結果票

【事業所概要(事業所記入)】

事業所番号	4190300238		
法人名	九州メディカル・サービス株式会社		
事業所名	グループホーム安心とどろきⅡ		
所在地	佐賀県鳥栖市轟木町1474番地2		
自己評価作成日	令和6年1月25日	評価結果市町村受理日	

※事業所の基本情報は、介護サービス情報の公表制度のホームページで閲覧してください。

基本情報リンク先URL	www.kaigokensaku.mhlw.go.jp
-------------	--

【評価機関概要(評価機関記入)】

評価機関名	社会福祉法人 佐賀県社会福祉協議会		
所在地	佐賀県佐賀市天神一丁目4番15号		
訪問調査日	令和6年3月19日	外部評価確定日	令和6年5月1日

【事業所が特に力を入れている点・アピールしたい点(事業所記入)】

○令和5年6月の増床して3ユニット運営となり、夏祭りや敬老会等施設行事では合同行事を開催する等日常と非日常が楽しめる環境を目指しています。
○協力医療機関との医療連携により、ご利用者の健康管理や急変時の迅速な対応が出来、安心して生活して頂けます。
○ご利用者が暮らしやすい明るく和やかな環境を作るために、職員間の意見交換や共通認識、コミュニケーションを図る場を多く設けると共に、研修(内部・外部)勉強会等への積極的な参加を行い、職員一人一人のキャリアアップに努めサービスの質の向上を目指しています。
○ご家族に安心して頂けるように、日々の生活状況の写真を撮り、毎月送付したり施設内に掲示して、ご家族に日常の様子をお知らせして信頼を得られるように努めています。
○管理者をはじめ、認知症ケアの知識を有し、それを職員が実践出来る環境を目指しています。入居者の精神状況が不安定になっても内服調整を第一選択とせず、人との関わりでBPSD(周辺症状)緩和へアプローチ出来る事で、その人らしい暮らしを支援しています。
○施設内で生活リハビリを実施しており、ご利用者の自立支援を目指しています。

【外部評価で確認した事業所の優れている点・工夫点(評価機関記入)】

同法人の3事業所が隣接している。緊急事態には互いに応援体制もあり心強い。新築開設するにあたり、その設計段階から関わった管理者は使いやすく暮らしやすい建物を軸にアイデアを出している。広い浴室やバルコニー、また緩やかな動線にはこれまでの経験が活かされている。稼働して間もない事業所では検討や模索も続いているが、寄せられた意見・要望には真摯に向き合おうとしている。耳の痛い意見こそ聞きたいと話す職員からは、サービス向上に繋げようとする姿勢が窺える。またタブレット活用は記録物の作業量減や、体重測定も可能なセンサー付きベッドの導入へと繋がっている。タブレット管理でベッド上の動きが把握できるため夜間の見守りでは効果を上げている。コロナ禍を経て面会や外出制限が緩和されたこれからは、入居者と家族の時間を大切にしたいと努める事業所である。

自己評価および外部評価結果

〔セル内の改行は、(Altキー)+(Enterキー)です。〕

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
I. 理念に基づく運営							
1	(1)	○理念の共有と実践 地域密着型サービスの意義をふまえた事業所理念をつくり、管理者と職員は、その理念を共有して実践につなげている	朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。勉強会や会議等話し合いを通じて理念の説明や認識の共有を図りながら実践を心がけている。	朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。勉強会や会議等話し合いを通じて理念の説明や認識の共有を図りながら実践を心がけている。	朝礼時に理念の唱和と確認を行っている。勉強会や会議等話し合いを通じて理念の説明や認識の共有を図りながら実践を心がけている。	医療法人仁徳会の理念である「いかなるときもお客さま本位の運営を行い、人間賛歌の病院を目指します」は介護の現場でも統一されている。毎朝の唱和や目に付く場所への掲示、また会議等で話題にすることにより意識付けとなっている。入居者に対する職員の自然な振る舞いや声掛け、気付いた者がさり気なく済ます片付けや掃除にも理念が活かされているのが窺える。	
2	(2)	○事業所と地域とのつきあい 利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう、事業所自体が地域の一員として日常的に交流している	天候の良い日は施設周辺の散歩に出かけている。また、定期的に外出レクリエーションを企画したり、地域行事への参加を試みている。コロナ禍で実施出来なかったが、施設内行事の際にはボランティアを招くことも計画している。消防訓練を地域住人と実施や、河川掃除や地域行事に参加している。	天候の良い日は施設周辺の散歩に出かけている。また、定期的に外出レクリエーションを企画したり、地域行事への参加を試みている。コロナ禍で実施出来なかったが、施設内行事の際にはボランティアを招くことも計画している。消防訓練を地域住人と実施や、河川掃除や地域行事に参加している。	天候の良い日は施設周辺の散歩に出かけている。また、定期的に外出レクリエーションを企画したり、地域行事への参加を試みている。コロナ禍で実施出来なかったが、施設内行事の際にはボランティアを招くことも計画している。消防訓練を地域住人と実施や、河川掃除や地域行事に参加している。	コロナ感染症が5類へ移行したとはいえ終息した訳ではなく、高齢者が暮らす事業所としては状況をみながらの対応を続けている。地域の細かい情報は、運営推進会議のメンバーである地区役員や地元に住む職員からも届けられている。昨年は事業所が新築開設するにあたり見学会等を催したため訪れた地域住民の相談を受けたり、専門知識を活かした対応で安心感も与えている。次年度には小学生との交流(学習体験など)の計画もあり、これからも地域社会と繋がりがながら基盤を築いていけるよう努めている。	
3		○事業所の力を活かした地域貢献 事業所は、実践を通じて積み上げていく認知症の人の理解や支援の方法を、地域の人々に向けて活かしている	認知症や権利擁護の内部研修実施や外部研修に参加してスキルアップを図っている。運営推進会議で毎月行っている勉強会(内部外部研修)内容の報告を行い地域代表や民生委員の理解を得ることを目指している。	認知症や権利擁護の内部研修実施や外部研修に参加してスキルアップを図っている。運営推進会議で毎月行っている勉強会(内部外部研修)内容の報告を行い地域代表や民生委員の理解を得ることを目指している。	認知症や権利擁護の内部研修実施や外部研修に参加してスキルアップを図っている。運営推進会議で毎月行っている勉強会(内部外部研修)内容の報告を行い地域代表や民生委員の理解を得ることを目指している。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	
4	(3)	○運営推進会議を活かした取り組み 運営推進会議では、利用者やサービスの実際、評価への取り組み状況等について報告や話し合いを行い、そこでの意見をサービス向上に活かしている	2か月に1度開催。ご家族や行政からの意見を議事録として記録して改善に努めている。ご家族の意見を発信する場になっており要望の収集や意見交換の場となっている。また、地域行事や地域との連携等の情報収集及び確認、地域課題把握の場としても活用している。	2か月に1度開催。ご家族や行政からの意見を議事録として記録して改善に努めている。ご家族の意見を発信する場になっており要望の収集や意見交換の場となっている。また、地域行事や地域との連携等の情報収集及び確認、地域課題把握の場としても活用している。	2か月に1度開催。ご家族や行政からの意見を議事録として記録して改善に努めている。ご家族の意見を発信する場になっており要望の収集や意見交換の場となっている。また、地域行事や地域との連携等の情報収集及び確認、地域課題把握の場としても活用している。	会議は概ね一時間を要し、入居状況や行事、研修(勉強会)等の報告だけではなく、双方向な対話の場となっている。特徴は全家族に案内を出し、その出席者が多いことである。家族は行政側や地域役員の話聞き、また事業所の実情にも触れ、当事者として関わる事の大切さを認識している。会議後には入居者の顔を見て帰るといふ楽しみもある。メンバー同士が顔見知りとなり相談し合う場面も見られ、自己評価では「この会議を通して地域との繋がりが深まり、理解者も大いに増えている」と答えている。	次のステップに向けて期待したい内容
5	(4)	○市町村との連携 市町村担当者と日頃から連絡を密に取り、事業所の実情やケアサービスの取り組みを積極的に伝えながら、協力関係を築くように取り組んでいる	行政主催の研修会(介護職員等基礎研修)への積極的参加に務めている。また、運営推進会議への参加時に意見交換を行い良好な協力関係を保つ様に努めている。	行政主催の研修会(介護職員等基礎研修)への積極的参加に務めている。また、運営推進会議への参加時に意見交換を行い良好な協力関係を保つ様に努めている。	行政主催の研修会(介護職員等基礎研修)への積極的参加に務めている。また、運営推進会議への参加時に意見交換を行い良好な協力関係を保つ様に努めている。	運営推進会議以外での接点もあり、行政側とは日頃から顔なじみである。相談事も話しやすく実直に対応してもらえる関係を築いている。最近では復帰する職員の勤務時間の捉え方などでアドバイスを受けている。事業所が大きな法人であるため内部で解決できるだけの人材やスキルもあるが、多角的な見解を重視しているため協働関係も大切にしている。また事業所と入居者の橋渡し役でもある介護相談員についてはコロナ禍で中断しているが、今後、再開も検討される。	
6	(5)	○身体拘束をしないケアの実践 代表者及び全ての職員が「指定地域密着型サービス指定基準及び指定地域密着型介護予防サービス指定基準における禁止の対象となる具体的な行為」を正しく理解しており、玄関の施錠を含めて身体拘束をしないケアに取り組んでいる	身体拘束適正化委員会を設置して、定期的に話し合いの場を設けている。また、計画的に研修会へ参加、勉強会を開催して、職員の理解及び意識付けに努めている。	身体拘束適正化委員会を設置して、定期的に話し合いの場を設けている。また、計画的に研修会へ参加、勉強会を開催して、職員の理解及び意識付けに努めている。	身体拘束適正化委員会を設置して、定期的に話し合いの場を設けている。また、計画的に研修会へ参加、勉強会を開催して、職員の理解及び意識付けに努めている。	入居契約時に指針の説明を行っている。現在、その実施例はない。3ヶ月毎の委員会では身体拘束をしていない確認と、実施例がある場合は止めるための工夫や方法が話し合われる。玄関に施錠もなく行動を抑えることはない。職員の見回りや気配りによって安全で自由な暮らしが支援されている。身体拘束の内容やその弊害まで十分に理解できるよう内外での研修・勉強会も継続している。仮に不適切なケアが見られた場合は、まず本人に理由を尋ね、考えさせ、内容によっては全体に提起するとなっている。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
7		○虐待の防止の徹底 管理者や職員は、高齢者虐待防止法等について学ぶ機会を持ち、利用者の自宅や事業所内での虐待が見過ごされることがないように注意を払い、防止に努めている	事業所での社内年間計画を作成して、高齢者虐待防止法についての勉強会を立案・実施している。管理者は職員のストレスケアに努め、個別の話し合いの場を設ける等工夫を行っている。	事業所での社内年間計画を作成して、高齢者虐待防止法についての勉強会を立案・実施している。管理者は職員のストレスケアに努め、個別の話し合いの場を設ける等工夫を行っている。	事業所での社内年間計画を作成して、高齢者虐待防止法についての勉強会を立案・実施している。管理者は職員のストレスケアに努め、個別の話し合いの場を設ける等工夫を行っている。		
8		○権利擁護に関する制度の理解と活用 管理者や職員は、日常生活自立支援事業や成年後見制度について学ぶ機会を持ち、個々の必要性を関係者と話し合い、それらを活用できるように支援している	定期的に事業所内での勉強会の開催及び研修会に参加している。研修に参加した職員は施設勉強会で発表報告を行い情報共有を図り、職員一人一人が理解していくための機会を設けている。	定期的に事業所内での勉強会の開催及び研修会に参加している。研修に参加した職員は施設勉強会で発表報告を行い情報共有を図り、職員一人一人が理解していくための機会を設けている。	定期的に事業所内での勉強会の開催及び研修会に参加している。研修に参加した職員は施設勉強会で発表報告を行い情報共有を図り、職員一人一人が理解していくための機会を設けている。		
9		○契約に関する説明と納得 契約の締結、解約又は改定等の際は、利用者や家族等の不安や疑問点を尋ね、十分な説明を行い理解・納得を図っている	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置しており随時確認している。ご入居者やご家族の口頭による苦情や要望があった際は、報告書をまとめ職員休憩室に掲示して各自確認を行っている。	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置しており随時確認している。ご入居者やご家族の口頭による苦情や要望があった際は、報告書をまとめ職員休憩室に掲示して各自確認を行っている。	受付カウンターに苦情・要望BOXを設置しており随時確認している。ご入居者やご家族の口頭による苦情や要望があった際は、報告書をまとめ職員休憩室に掲示して各自確認を行っている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	
10	(6)	○運営に関する利用者、家族等意見の反映 利用者や家族等が意見、要望を管理者や職員並びに外部者へ表せる機会を設け、それらを運営に反映させている	毎月カンファレンスを実施して、職員の意見や提案を管理者を含め参加者全員で話し合い、運営に反映出来るよう努めている。また、課題がある場合は、その都度話し合いを行い対応している。	毎月カンファレンスを実施して、職員の意見や提案を管理者を含め参加者全員で話し合い、運営に反映出来るよう努めている。また、課題がある場合は、その都度話し合いを行い対応している。	毎月カンファレンスを実施して、職員の意見や提案を管理者を含め参加者全員で話し合い、運営に反映出来るよう努めている。また、課題がある場合は、その都度話し合いを行い対応している。	家族の来所は多い。毎月の利用料請求時には日常の一コマ写真も同封される。コロナ禍を経て規制は徐々に緩和されているが、用心は怠らず続けている。事業所では家族と直接会話が出来る機会を大切にしており、まず職員から声を掛けるよう努めている。世間話も交え、近況等を伝えながら何でも話してもらえるよう心掛けていく。今回の当外部評価アンケートでは殆どの家族が「気軽に訪ねて行きやすい」と答えている。また同時に記された意見には厳しいものもあったが、事業所からはそれこそが知りたい事だという声が聞かれた。率直な意見にも真摯に向き合い活かそうとする姿勢が窺える。運営推進会議の中で出された意見も含め、今後、全家族に公表も検討している。	
11	(7)	○運営に関する職員意見の反映 代表者や管理者は、運営に関する職員の意見や提案を聞く機会を設け、反映させている	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等に関しても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等に関しても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等に関しても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	毎月の職員会議は3ユニット合同で開き、一時間弱を要し休みの職員も出席している。カンファレンスを主とし、行事や連絡事項、現場から上がる課題等が話し合われている。司会を交替制にすることで発言や進行がスムーズになり、経験を持ち寄る場としても互いのスキル向上へと繋がっている。ストレスケアは重要であり、その場を替わってみる対応が効果を表しているのは良好な職場環境が基にある。また管理者としては働きやすい職場であるよう配慮も必要で、職員とは雑談も交えながらコミュニケーションを図り、定時での帰宅を促し、休暇取得にも応えている。現場の声は法人上席にも届けられる。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
			実施状況	実施状況	実施状況		
12		○就業環境の整備 代表者は、管理者や職員個々の努力や実績、勤務状況を把握し、給与水準、労働時間、やりがいなど、各自が向上心を持って働けるよう職場環境・条件の整備に努めている	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等についても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等についても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。	管理者は同法人内の会議にて現状報告を行っており、現場職員の意見は随時代表者・取締役へ報告している。また、質問や意見、改善提案等についても、その都度話し合いの場を設けるように努めている。		
13		○職員を育てる取り組み 代表者は、管理者や職員一人ひとりのケアの実際と力量を把握し、法人内外の研修を受ける機会の確保や、働きながらトレーニングしていくことを進めている	管理者は随時面談を行い、職員一人一人の力量の把握、希望時は資格取得のための支援を行っている。また、行政主催の研修会へ積極的に職員の参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告している。	管理者は随時面談を行い、職員一人一人の力量の把握、希望時は資格取得のための支援を行っている。また、行政主催の研修会へ積極的に職員の参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告している。	管理者は随時面談を行い、職員一人一人の力量の把握、希望時は資格取得のための支援を行っている。また、行政主催の研修会へ積極的に職員の参加を促し、カンファレンスや自施設での勉強会にて報告している。		
14		○同業者との交流を通じた向上 代表者は、管理者や職員が同業者と交流する機会をつくり、ネットワークづくりや勉強会、相互訪問等の活動を通じて、サービスの質を向上させていく取り組みをしている	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者と交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者と交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。	グループホーム連絡協議会等に参加したり、行政主催の研修会・行事に参加して同業者と交流を持ち、サービスの質の向上に努めている。		
II. 安心と信頼に向けた関係づくりと支援							
15		○初期に築く本人との信頼関係 サービスの利用を開始する段階で、本人が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、本人の安心を確保するための関係づくりに努めている	施設見学の希望があった際は丁寧な案内を心がけ、可能な限りご要望に応えられるように努めている。入居希望時には、事前に情報収集の機会を設ける等安心して入居して頂ける様に努めている。また、必要であれば体験入居も受け付けている。	施設見学の希望があった際は丁寧な案内を心がけ、可能な限りご要望に応えられるように努めている。入居希望時には、事前に情報収集の機会を設ける等安心して入居して頂ける様に努めている。また、必要であれば体験入居も受け付けている。	施設見学の希望があった際は丁寧な案内を心がけ、可能な限りご要望に応えられるように努めている。入居希望時には、事前に情報収集の機会を設ける等安心して入居して頂ける様に努めている。また、必要であれば体験入居も受け付けている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
16		○初期に築く家族等との信頼関係サービスの利用を開始する段階で、家族等が困っていること、不安なこと、要望等に耳を傾けながら、関係づくりに努めている	施設入居を希望されるご家族には施設の運営規定を十分説明を行うと共に、ご家族の不安や要望を伺い、良い関係を築けるように努めている。また、どのように過ごされているか等の様子を電話や面会等報告、毎月写真送付する等工夫を行っている。	施設入居を希望されるご家族には施設の運営規定を十分説明を行うと共に、ご家族の不安や要望を伺い、良い関係を築けるように努めている。また、どのように過ごされているか等の様子を電話や面会等報告、毎月写真送付する等工夫を行っている。	施設入居を希望されるご家族には施設の運営規定を十分説明を行うと共に、ご家族の不安や要望を伺い、良い関係を築けるように努めている。また、どのように過ごされているか等の様子を電話や面会等報告、毎月写真送付する等工夫を行っている。		
17		○初期対応の見極めと支援サービスの利用を開始する段階で、本人と家族等が「その時」まず必要としている支援を見極め、他のサービス利用も含めた対応に努めている	入居前に収集する情報やご本人とご家族の意向を伺い、必要であれば他サービスを取り入れた支援が出来る様に努めている。	入居前に収集する情報やご本人とご家族の意向を伺い、必要であれば他サービスを取り入れた支援が出来る様に努めている。	入居前に収集する情報やご本人とご家族の意向を伺い、必要であれば他サービスを取り入れた支援が出来る様に努めている。		
18		○本人と共に過ごし支え合う関係職員は、本人を介護される一方の立場に置かず、暮らしを共にする者同士の関係を築いている	食事の準備や片付け、掃除等の家事作業をご入居の方々に参加頂き、職員だけでなくご入居者と協力し合える環境作りに努めている。	食事の準備や片付け、掃除等の家事作業をご入居の方々に参加頂き、職員だけでなくご入居者と協力し合える環境作りに努めている。	食事の準備や片付け、掃除等の家事作業をご入居の方々に参加頂き、職員だけでなくご入居者と協力し合える環境作りに努めている。		
19		○本人と共に支え合う家族との関係職員は、家族を支援される一方の立場に置かず、本人と家族の絆を大切にしながら、共に本人を支えていく関係を築いている	ご本人とご家族の交流を深めたり、ご家族面会時は、ゆっくりくつろいで話が出来る環境を配慮している。また、必要時は外出等の支援や面会の依頼をお願いする事がある。	ご本人とご家族の交流を深めたり、ご家族面会時は、ゆっくりくつろいで話が出来る環境を配慮している。また、必要時は外出等の支援や面会の依頼をお願いする事がある。	ご本人とご家族の交流を深めたり、ご家族面会時は、ゆっくりくつろいで話が出来る環境を配慮している。また、必要時は外出等の支援や面会の依頼をお願いする事がある。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
20	(8)	○馴染みの人や場との関係継続の支援 本人がこれまで大切にしてきた馴染みの人や場所との関係が途切れないう、支援に努めている	友人や知人の面会もあり、天候が良い日は近所を散歩している。また、買い物や外出等本人のやりたい事(行きたい場所)を聞き取り、その実現に向けた個別の取り組みを行っている。	友人や知人の面会もあり、天候が良い日は近所を散歩している。また、買い物や外出等本人のやりたい事(行きたい場所)を聞き取り、その実現に向けた個別の取り組みを行っている。	友人や知人の面会もあり、天候が良い日は近所を散歩している。また、買い物や外出等本人のやりたい事(行きたい場所)を聞き取り、その実現に向けた個別の取り組みを行っている。	入居までの人間関係の把握には本人や家族、担当のケアマネジャーからも話を聞き情報を集めている。また利用していたサービス事業所や病院のソーシャルワーカーからの話もポイントである。それらを基に具体的な支援が生まれ、親しい方々との繋がりが維持できるよう努めている。コロナ禍が少し緩和され、正月の帰宅(宿泊も)や法事への出席を叶えた例もある。インフルエンザ流行時期もあり感染対策が欠かせない状況の中で、家族の協力も得ながら希望に応えられるよう支援している。	
21		○利用者同士の関係の支援 利用者同士の関係を把握し、一人ひとりが孤立せずに利用者同士が関わり合い、支え合えるような支援に努めている	日頃から生活機能向上訓練やレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を目指している。入居者間のトラブルに関しては職員が間に入り、孤立しない関わりや入居者同士が支え合うような環境作りに努めている。	日頃から生活機能向上訓練やレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を目指している。入居者間のトラブルに関しては職員が間に入り、孤立しない関わりや入居者同士が支え合うような環境作りに努めている。	日頃から生活機能向上訓練やレクリエーション等を通じて入居者様同士が関わり合える環境を目指している。入居者間のトラブルに関しては職員が間に入り、孤立しない関わりや入居者同士が支え合うような環境作りに努めている。		
22		○関係を断ち切らない取組み サービス利用(契約)が終了しても、これまでの関係性を大切にしながら、必要に応じて本人・家族の経過をフォローし、相談や支援に努めている	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。	退去や転居された後でも、必要に応じて相談や助言が出来るように努めている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
Ⅲ. その人らしい暮らしを続けるためのケアマネジメント							
23	(9)	○思いや意向の把握 一人ひとりの思いや暮らし方の希望、意向の把握に努めている。困難な場合は、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情からご入居者一人一人の想いを把握したり直接ご本人より聞き取り、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情からご入居者一人一人の想いを把握したり直接ご本人より聞き取り、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	日頃の会話や表情からご入居者一人一人の想いを把握したり直接ご本人より聞き取り、サービス担当者会議時に話し合い、本人本位に検討している。	入居者と接する時は体調の変化にも敏感であるよう心掛けている。隣に座りスキンシップを交えながら話し相手をしているが、手の温もりや息遣いも確認のひとつである。視線を合わせながら向き合っていると想いを話してくれたり、お気に入りの職員を待つ方もある。発語の少ない方とはその表情から読み取っている。聞き取った事は口頭やタブレット入力、また業務日誌に記すことで共有を図っている。今回の家族アンケートでは「職員は本人の思いや願い、要望等を分かってくれている」と答えた方が殆どであった。	
24		○これまでの暮らしの把握 一人ひとりの生活歴や馴染みの暮らし方、生活環境、これまでのサービス利用の経過等の把握に努めている	ご本人との会話だけでなく、ご家族からもご本人の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。	ご本人との会話だけでなく、ご家族からもご本人の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。	ご本人との会話だけでなく、ご家族からもご本人の生活歴等をお聞きし、これまでの暮らしを把握して支援方法の一つとして検討している。		
25		○暮らしの現状の把握 一人ひとりの一日の過ごし方、心身状態、有する力等の現状の把握に努めている	ご入居者一人一人の現状把握や状況を些細な事でも日々の記録として残し、職員が業務日誌と併用して記録を閲覧して把握出来る様に努めている。	ご入居者一人一人の現状把握や状況を些細な事でも日々の記録として残し、職員が業務日誌と併用して記録を閲覧して把握出来る様に努めている。	ご入居者一人一人の現状把握や状況を些細な事でも日々の記録として残し、職員が業務日誌と併用して記録を閲覧して把握出来る様に努めている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
26	(10)	<p>○チームでつくる介護計画とモニタリング 本人がより良く暮らすための課題とケアのあり方について、本人、家族、必要な関係者と話し合い、それぞれの意見やアイデアを反映し、現状に即した介護計画を作成している</p>	<p>ご入居者それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングやケア会議を行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。</p>	<p>ご入居者それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングやケア会議を行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。</p>	<p>ご入居者それぞれに担当者を決めて、毎月モニタリングやケア会議を行い新たな課題がないか検討すると共に、サービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。</p>	<p>ケアプランは3ヶ月毎に見直しているが、その間に変化があれば臨機応変な対応もある。また入居して間もない時期は環境の変化もあり注意深く見守っている。本人の希望は日々のケアの中で把握し、家族の要望等は面会時や電話での会話から汲み取っている。家族から具体的な希望が出ることはないが、元気で過ごしてほしいという想いは伝わってくる。事業所では何にでも手を貸すのではなく、見守りの中でサービス担当者会議を定期的開催し、ケアの在り方について話し合いを行いケアプランを作成している。</p>	
27		<p>○個別の記録と実践への反映 日々の様子やケアの実践・結果、気づきや工夫を個別記録に記入し、職員間で情報を共有しながら実践や介護計画の見直しに活かしている</p>	<p>ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録等に残し、ケアプランの見直しに活かしている。</p>	<p>ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録等に残し、ケアプランの見直しに活かしている。</p>	<p>ケアの中で気づき等があれば些細な事でも個人記録等に残し、ケアプランの見直しに活かしている。</p>		
28		<p>○一人ひとりを支えるための事業所の多機能化 本人や家族の状況、その時々生まれるニーズに対応して、既存のサービスに捉われない、柔軟な支援やサービスの多機能化に取り組んでいる</p>	<p>ご家族のご面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できるように努めている。また、ご面会の多い土日にも柔軟な対応が出来るよう職員の配置を心掛けている。</p>	<p>ご家族のご面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できるように努めている。また、ご面会の多い土日にも柔軟な対応が出来るよう職員の配置を心掛けている。</p>	<p>ご家族のご面会時に話を聞いたりして、対応が必要な事項については、その時々で臨機応変に対応できるように努めている。また、ご面会の多い土日にも柔軟な対応が出来るよう職員の配置を心掛けている。</p>		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
29		○地域資源との協働 一人ひとりの暮らしを支えている地域資源を把握し、本人が心身の力を発揮しながら安全で豊かな暮らしを楽しむことができるよう支援している	医療リハビリを利用したり、趣味活動に外出、家族との外出が楽しめる環境作りを心がけている。外出が困難な方には、関わりができる場所の提供を行い、ご入居者が楽しむ事の出来る様に支援している。	医療リハビリを利用したり、趣味活動に外出、家族との外出が楽しめる環境作りを心がけている。外出が困難な方には、関わりができる場所の提供を行い、ご入居者が楽しむ事の出来る様に支援している。	医療リハビリを利用したり、趣味活動に外出、家族との外出が楽しめる環境作りを心がけている。外出が困難な方には、関わりができる場所の提供を行い、ご入居者が楽しむ事の出来る様に支援している。		
30	(11)	○かかりつけ医の受診診断 受診は、本人及び家族等の希望を大切にし、納得が得られたかかりつけ医と事業所の関係を築きながら、適切な医療を受けられるように支援している	かかりつけ医がある場合は、ご家族の協力の下、継続して受診が出来る様に支援している。また、法人内には協力医療機関や訪問看護ステーションがあり、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	かかりつけ医がある場合は、ご家族の協力の下、継続して受診が出来る様に支援している。また、法人内には協力医療機関や訪問看護ステーションがあり、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	かかりつけ医がある場合は、ご家族の協力の下、継続して受診が出来る様に支援している。また、法人内には協力医療機関や訪問看護ステーションがあり、連携を取り適切な医療を受けて頂ける様に支援している。	元々、協力医の患者だった方には病歴等も知ってもらえている安心感があり、入居後に協力医を希望した方は訪問診療等の説明を聞き納得しての変更である。また昔からの馴染みの医師の元へ通う方もあり、それぞれが希望するかかりつけ医となっている。協力医以外にも訪問診療を受けることは可能で、事業所が契約する訪問看護ステーションのチェックも毎週あり、健康面や医療面の支援では家族にも安心感を与えている。受診の付き添い対応も柔軟で、その結果報告も状況により判断している。	
31		○看護職員との協働 介護職員は、日常の関わりの中でとらえた情報や気づきを、職場内の看護職員や訪問看護師等に伝えて相談し、個々の利用者が適切な受診や看護を受けられるように支援している	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられる様に支援している。	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられる様に支援している。	日々の状態観察を行い、異常があれば直ぐに担当医師・訪問看護師に報告し、適切な受診や看護を受けられる様に支援している。		
32		○入退院時の医療機関との協働 利用者が入院した際、安心して治療できるように、また、できるだけ早期に退院できるように、病院関係者との情報交換や相談に努めている。又は、そうした場合に備えて病院関係者との関係づくりを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加する等日頃より関係者との関係作りを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加する等日頃より関係者との関係作りを行っている。	協力医療機関関係者と情報交換を行い、状況を把握して早期退院が出来る様に努めている。また、協力医療機関の朝礼等に参加する等日頃より関係者との関係作りを行っている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
33	(12)	○重度化や終末期に向けた方針の共有と支援 重度化した場合や終末期のあり方について、早い段階から本人・家族等と話し合いを行い、事業所ですることを十分に説明しながら方針を共有し、地域の関係者と共にチームで支援に取り組んでいる	入居時にご本人・ご家族の希望を伺い、重度化や終末期についての希望・意見を確認している。ご入居者の状態変化に応じて随時意向を確認して、ご家族・主治医・訪問看護・職員が連携してご本人の望む支援が出来る様に努めている。	入居時にご本人・ご家族の希望を伺い、重度化や終末期についての希望・意見を確認している。ご入居者の状態変化に応じて随時意向を確認して、ご家族・主治医・訪問看護・職員が連携してご本人の望む支援が出来る様に努めている。	入居時にご本人・ご家族の希望を伺い、重度化や終末期についての希望・意見を確認している。ご入居者の状態変化に応じて随時意向を確認して、ご家族・主治医・訪問看護・職員が連携してご本人の望む支援が出来る様に努めている。	重度化した場合の指針があり、その中身には具体的な支援内容や開始時期、また職員の研修までが記されており、入居契約時に家族に説明している。一旦決めてはいても容態の変化に伴い揺れ動く家族の気持ちを踏まえ、話し合いは何度でも重ねる事としている。希望があれば看取りに応える用意もあり、その後のエンゼルケアでは家族が望めば一緒に施すこともできる。本人や家族が納得して最期を迎えられるよう支援している。今後、家族向けに心構えを記した冊子も検討される。	
34		○急変や事故発生時の備え 利用者の急変や事故発生時に備えて、全ての職員は応急手当や初期対応の訓練を定期的に行い、実践力を身に付けている	外部研修会、訓練の参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、事故発生時に実践出来る様に努めている。	外部研修会、訓練の参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、事故発生時に実践出来る様に努めている。	外部研修会、訓練の参加や、緊急時対応マニュアル及び訪問看護連絡マニュアルを整備して、事故発生時に実践出来る様に努めている。		
35	(13)	○災害対策 火災や地震、水害等の災害時に、昼夜を問わず利用者が避難できる方法を全職員が身につけるとともに、地域との協力体制を築いている	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	毎月の防火チェックや年2回の防火訓練を行い、災害時に迅速な対応が出来る様に職員へ指導をしている。また、訓練の際には地域の協力を得られる様に声かけをしている。	年2回の訓練には消防署や設備業者も立ち合っている。昼間帯に行い、夜間想定では夜勤とみなした職員のみで初期対応を試みている。隣接する3事業所合同の訓練であり、各職員は消火器や通報装置の使い方、また応援体制の確認も行っている。火元に当たると入居者も一緒に避難を体験し、居室ドア前に枕やゴミ箱等の持ち物を置くことで退避済の合図としている。一次避難場所は近くの公民館だが日頃から散歩コースとして歩いている。非常食等の備えもある。近隣住民への参加協力依頼や最終的な避難先の選定が課題であり今後検討される。BCP(災害等の緊急事態における事業継続計画)については法人でも準備を進めている。	

自己	外部	項目	自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	外部評価 (評価機関記入欄)	
			実施状況	実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
IV. その人らしい暮らしを続けるための日々の支援							
36	(14)	○一人ひとりの人格の尊重とプライバシーの確保 一人ひとりの人格を尊重し、誇りや プライバシーを損ねない言葉かけや 対応をしている	ご入居者の人格の尊重とプ ライバシーに配慮した言葉 かけや対応を心掛けると共 に、敬意を表した対応を心 かけている。また、定期的 に接遇の勉強会を開催して いる。	ご入居者の人格の尊重とプ ライバシーに配慮した言葉 かけや対応を心掛けると共 に、敬意を表した対応を心 かけている。また、定期的 に接遇の勉強会を開催して いる。	ご入居者の人格の尊重とプ ライバシーに配慮した言葉 かけや対応を心掛けると共 に、敬意を表した対応を心か けています。また、定期的 に接遇の勉強会を開催して いる。	トイレや入浴の介助では羞恥 心等への配慮が求められる。 入居して間もない時期は同性 によるケアが良いか事前に尋 ねたり、また様子をみながら臨 機応変に対応する場合もあ る。タオルを用いた工夫やドア の閉め具合(開き具合)など当 たり前の事として支援してい る。個人情報の取り扱いに対 する職員の意識は高く、業務 上のやり取りであっても声の大 きさには注意を払っている。入 居時に示される「個人情報に 関する同意書」ではSNS等へ の写真掲載はもとより、居室の 名札掲示等々を細かく確認し 承諾を得ている。	
37		○利用者の希望の表出や自己決定 日常生活の中で本人が思いや希望 を表したり、自己決定できるように働 きかけている	日頃からご入居者の話を伺 い、ご入居者の希望や要望 に沿った生活が出来る様に 働きかけている。	日頃からご入居者の話を伺 い、ご入居者の希望や要望 に沿った生活が出来る様に 働きかけている。	日頃からご入居者の話を伺 い、ご入居者の希望や要望 に沿った生活が出来る様に 働きかけている。		
38		○日々のその人らしい暮らし 職員側の決まりや都合を優先するの ではなく、一人ひとりのペースを大切 にし、その日をどのように過ごした いか、希望にそって支援している	ご入居者の体調やペースに 合わせ、その都度ご本人の 意向を確認しながら希望に 沿った支援が出来る様に努 めている。	ご入居者の体調やペースに 合わせ、その都度ご本人の 意向を確認しながら希望に 沿った支援が出来る様に努 めている。	ご入居者の体調やペースに 合わせ、その都度ご本人の 意向を確認しながら希望に 沿った支援が出来る様に努 めている。		
39		○身だしなみやおしゃれの支援 その人らしい身だしなみやおしゃれ ができるように支援している	毎月訪問理美容の方に来 訪頂き、カット・カラー・パー マをご利用頂いている。	毎月訪問理美容の方に来 訪頂き、カット・カラー・パー マをご利用頂いている。	毎月訪問理美容の方に来 訪頂き、カット・カラー・パー マをご利用頂いている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
40	(15)	○食事を楽しむことのできる支援 食事が楽しみなものになるよう、一人ひとりの好みや力を活かしながら、利用者と職員が一緒に準備や食事、片付けをしている	食前には食器等の準備、食後の片付け、テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつを一緒に手作りする事もある。	食前には食器等の準備、食後の片付け、テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつを一緒に手作りする事もある。	食前には食器等の準備、食後の片付け、テーブル拭き等出来る範囲の事は一緒に行っている。おやつを一緒に手作りする事もある。	事業所では炊飯を行い、契約業者からは主菜・副菜・汁物まで調理済の状態(湯煎で温め)で届けられる。入居者毎の好き嫌いやアレルギー有無の把握はしており、苦手な献立や食材には代替えもある。出来るだけ自分で口へ運んでほしいとの想いから介助は最小限に止め、自助食器の活用や声掛けで促すこともある。食が細い方には小さいおにぎりにしてみる工夫や、時間を掛けてみるケアもある。各ユニットの中央にキッチンがあり一緒に準備を手伝う方もいて、その音や匂いはみんなに食事時を知らせている。誕生日は当日(同月はまとめる)に祝い、ケーキも用意される。業者発注のため献立が決まっていることから、時には入居者の食べたい物を提供する機会を設けたい想いがあり、食事作りやおやつ作りも今後計画される。	
41		○栄養摂取や水分確保の支援 食べる量や栄養バランス、水分量が一日を通じて確保できるよう、一人ひとりの状態や力、習慣に応じた支援をしている	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事を随時検討して、一覧表を作成している。また、水分・食事摂取量のチェック表を作成して、栄養バランスが把握できる様にしている。	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事を随時検討して、一覧表を作成している。また、水分・食事摂取量のチェック表を作成して、栄養バランスが把握できる様にしている。	一人一人の状態に合わせた食事形態や食事を随時検討して、一覧表を作成している。また、水分・食事摂取量のチェック表を作成して、栄養バランスが把握できる様にしている。		
42		○口腔内の清潔保持 口の中の汚れや臭いが生じないように、毎食後、一人ひとりの口腔状態や本人の力に応じた口腔ケアをしている	毎食後、ご入居者一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別ケアを行っている。必要時は訪問歯科を利用して口腔内の確認を行っている。	毎食後、ご入居者一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別ケアを行っている。必要時は訪問歯科を利用して口腔内の確認を行っている。	毎食後、ご入居者一人一人に歯磨きの声かけを行い、状態に合わせた個別ケアを行っている。必要時は訪問歯科を利用して口腔内の確認を行っている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
43	(16)	○排泄の自立支援 排泄の失敗やおむつの使用を減らし、一人ひとりの力や排泄のパターン、習慣を活かして、トイレでの排泄や排泄の自立に向けた支援を行っている	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握、オムツを使用しない工夫を検討してトイレにて排泄が行えるように工夫している。	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握、オムツを使用しない工夫を検討してトイレにて排泄が行えるように工夫している。	個別に排泄の記録を行い排泄パターンを把握、オムツを使用しない工夫を検討してトイレにて排泄が行えるように工夫している。	排泄に関して全介助者は3名、その他は自立した方もいるが任せたままでなく、さり気なく見守っている。事業所では、失禁に対しすぐにパット類を使うのではなく、まずは声掛けや誘導、見守りのケアを旨としている。入居後のパターンを把握するケアによってパット類の使用枚数減やサイズダウンもあり、ひいては費用負担の軽減に繋がった例もある。またトイレ内は車いす利用でも十分な広さがあり、手すりや可動式ひじ掛け、背もたれの設定は自立を促す補助具として役立っている。	
44		○便秘の予防と対応 便秘の原因や及ぼす影響を理解し、飲食物の工夫や運動への働きかけ等、個々に応じた予防に取り組んでいる	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供する等の工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度声かけや嗜好品の摂取を行っている。	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供する等の工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度声かけや嗜好品の摂取を行っている。	出来るだけ薬には頼らず、水分補給時には乳製品を提供する等の工夫をしている。また、水分摂取量の記録チェックを行い、不足時はその都度声かけや嗜好品の摂取を行っている。		
45	(17)	○入浴を楽しむことができる支援 一人ひとりの希望やタイミングに合わせて入浴を楽しめるように、職員の都合で曜日や時間帯を決めず、個々に応じた入浴の支援をしている	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の順番が変わる様に工夫している。	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の順番が変わる様に工夫している。	入浴日は決まっているが、一人一人の体調を見て入浴日を変更したり、午前と午後を入れ替える等、その方に応じた入浴の支援を行っている。また、入浴日の順番が変わる様に工夫している。	入浴は週2回を目安にしているが、風呂の準備は毎日できているため、希望や必要があれば対応は可能である。ひとりずつ、ゆっくりと寛いでもらう中で想いを話してくれる方もある。楽しめる工夫として入浴剤の活用や足浴日もある。嫌がる方には無理強いせず、日にちや順番を変えて試み、長く続けば職員の誘導で対応している。また入浴しない日でも下着や肌着の交換をし清潔保持に努めている。浴室の暖房設備はヒートショック対策となり、手すりやシャワーチェアによって安全な入浴を提供している。脱衣場の引き戸からトイレへ行けることも使い勝手が良い。安定感のある椅子で身纏いもしやすく、衣服の脱ぎ着は出来るだけ本人に任せ見守っている。	

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況 次のステップに向けて期待したい内容
46		○安眠や休息の支援 一人ひとりの生活習慣やその時々 の状況に応じて、休息したり、安心し て気持ちよく眠れるよう支援している	ご入居者の状態に応じて休 息を促している。自室で休ま れる時には室温調整や乾燥 しない様に加湿器を作動さ せ、気持ちよく眠れるよう に支援している。	ご入居者の状態に応じて休 息を促している。自室で休ま れる時には室温調整や乾燥 しない様に加湿器を作動さ せ、気持ちよく眠れるよう に支援している。	ご入居者の状態に応じて休 息を促している。自室で休ま れる時には室温調整や乾燥 しない様に加湿器を作動さ せ、気持ちよく眠れるよう に支援している。	
47		○服薬支援 一人ひとりが使用している薬の目的 や副作用、用法や用量について理 解しており、服薬の支援と症状の変 化の確認に努めている	個別ファイルに薬の説明書 を挟み、いつでも職員が確 認出来る様にしている。ま た、内服薬の変更・追加時 はその都度協力医療機関の 看護師や薬局の薬剤師より 説明を受けている。服薬介 助する際は職員2名で確認 して誤薬防止に努めてい る。	個別ファイルに薬の説明書 を挟み、いつでも職員が確 認出来る様にしている。ま た、内服薬の変更・追加時 はその都度協力医療機関の 看護師や薬局の薬剤師より 説明を受けている。服薬介 助する際は職員2名で確認 して誤薬防止に努めてい る。	個別ファイルに薬の説明書 を挟み、いつでも職員が確 認出来る様にしている。ま た、内服薬の変更・追加時 はその都度協力医療機関の 看護師や薬局の薬剤師より 説明を受けている。服薬介 助する際は職員2名で確認 して誤薬防止に努めてい る。	
48		○役割、楽しみごとの支援 張り合いや喜びのある日々を過ごせ るように、一人ひとりの生活歴や力 を活かした役割、嗜好品、楽しみご と、気分転換等の支援をしている	今までの生活歴や能力に応 じて出来る事を見極め、張り 合いや喜びを持って生活出 来る様に役割分担したり、気 分転換出来る様に努めてい る。	今までの生活歴や能力に応 じて出来る事を見極め、張り 合いや喜びを持って生活出 来る様に役割分担したり、気 分転換出来る様に努めてい る。	今までの生活歴や能力に応 じて出来る事を見極め、張り 合いや喜びを持って生活出 来る様に役割分担したり、気 分転換出来る様に努めてい る。	
49	(18)	○日常的な外出支援 一人ひとりのその日の希望にそっ て、戸外に出かけられるよう支援に 努めている。また、普段は行けない ような場所でも、本人の希望を把握 し、家族や地域の人々と協力しなが ら出かけられるように支援している	近場の買い物や外出につい ては、希望に沿って支援して いる。遠方への外出や地域 行事等にはご家族や地域の方 々の協力を頂きながら実 施している。	近場の買い物や外出につい ては、希望に沿って支援して いる。遠方への外出や地域 行事等にはご家族や地域の方 々の協力を頂きながら実 施している。	近場の買い物や外出につい ては、希望に沿って支援して いる。遠方への外出や地域 行事等にはご家族や地域の方 々の協力を頂きながら実 施している。	本人から外出の希望が出るこ ともある。家族の協力は欠か せないが、事業所でも出来る 限り応えられるよう努めてい る。現在は外出もかなり緩和さ れ、車で出掛ける場合は数回 に分ける対応である。周辺へ の散歩は日常的に支援され、 車いす使用であっても同様で、 外気に触れることで五感の刺 激にもなっている。長く続いた コロナ禍もあり、家族アンケ ートでは「殆ど出掛けていない」 「わからない」と答えた方が半 数以上あった。事業所ではドラ イブ等の機会が増やせるよう 具体的な取り組み内容を検討 している。

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)				
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
50		○お金の所持や使うことの支援 職員は、本人がお金を持つことの大切さを理解しており、一人ひとりの希望や力に応じて、お金を所持したり使えるように支援している	自己管理出来る方に関しては、小額を自己管理している。外出の際には買い物もされている。	自己管理出来る方に関しては、小額を自己管理している。外出の際には買い物もされている。	自己管理出来る方に関しては、小額を自己管理している。外出の際には買い物もされている。		
51		○電話や手紙の支援 家族や大切な人に本人自らが電話をしたり、手紙のやり取りができるように支援をしている	希望・要望時は電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。	希望・要望時は電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。	希望・要望時は電話をかけたり、手紙のやり取りが出来る様に支援している。		
52	(19)	○居心地のよい共用空間づくり 共用の空間(玄関、廊下、居間、台所、食堂、浴室、トイレ等)が、利用者にとって不快や混乱をまねくような刺激(音、光、色、広さ、温度など)がないように配慮し、生活感や季節感を採り入れて、居心地よく過ごせるような工夫をしている	季節に応じた飾りつけを等をしたり、観葉植物を育てたり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	季節に応じた飾りつけを等をしたり、観葉植物を育てたり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	季節に応じた飾りつけを等をしたり、観葉植物を育てたり、観葉植物を置いたりして居心地よく過ごせるような工夫をしている。また、トイレや洗面所・食堂等の共用空間の環境整備に努めている。	Aユニットは新築から2年余り、BCユニットは一年未満である。全てがまだ新しく、BCユニットの東側は一面ガラス窓で食堂・リビングは開放的な雰囲気である。すぐ脇には道路があり車の通行も多いが、登下校の子供達や散歩の住民が通ることは楽しみでもある。入居者の価値観を大切に飾り方で、動線上には行動を妨げる物もない。テレビからは番組ではなく懐かしい歌が流れている。時節柄、換気には注意を払い、常時開けておく小窓もある。手を触れる箇所の消毒はこまめに行い、掃除を手伝う入居者もあり居室も同様である。トイレや浴室はきれいに掃除され嫌な臭気はない。	
53		○共用空間における一人ひとりの居場所づくり 共用空間の中で、独りになれたり、気の合った利用者同士で思い思いに過ごせるような居場所の工夫をしている	折りたたみいすを設置したり、他居室への移動を希望される際に、移動の支援をする等それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。	折りたたみいすを設置したり、他居室への移動を希望される際に、移動の支援をする等それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。	折りたたみいすを設置したり、他居室への移動を希望される際に、移動の支援をする等それぞれ好きな場所で過ごせるようにしている。		

自己	外部	項目	外部評価 (評価機関記入欄)			
			自己評価(ユニット名/A)	自己評価(ユニット名/B)	自己評価(ユニット名/C)	実施状況
			実施状況	実施状況	実施状況	次のステップに向けて期待したい内容
54	(20)	○居心地よく過ごせる居室の配慮 居室あるいは泊まりの部屋は、本人や家族と相談しながら、使い慣れたものや好みのものを活かして、本人が居心地よく過ごせるような工夫をしている	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的にご本人やご家族の意向を聞きながら、必要な方には居室の模様替えを手伝っている。各居室に行事写真や家族写真を飾り思い出の写真等を観て楽しんで頂ける様にしている。	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的にご本人やご家族の意向を聞きながら、必要な方には居室の模様替えを手伝っている。各居室に行事写真や家族写真を飾り思い出の写真等を観て楽しんで頂ける様にしている。	自宅で使い慣れた家具等を持ってきて頂き、居心地よく過ごせる工夫をしている。また、定期的にご本人やご家族の意向を聞きながら、必要な方には居室の模様替えを手伝っている。各居室に行事写真や家族写真を飾り思い出の写真等を観て楽しんで頂ける様にしている。	火気等の危険物以外に持ち込む品物の制限はない。使い慣れた物をと伝えており、配置等も一緒に行い居心地よく過ごせるよう支援している。思い思いに写真等を貼り、その方らしく整えられている。模様替えはADL(日常生活動作)に変化があれば行い、動きに合わせた生活しやすい配置が考慮されている。センサー付きベッドの設置もメリットが大きい。週一回はシーツ交換があり一緒に手伝う方もいる。看取り期であれば家族が居室へ宿泊することも可能である。
55		○一人ひとりの力を活かした安全な環境づくり 建物内部は一人ひとりの「できること」や「わかること」を活かして、安全かつできるだけ自立した生活が送れるように工夫している	段差のない造り、手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共有スペースに工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	段差のない造り、手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共有スペースに工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	段差のない造り、手すりの設置・時計・日めくりカレンダーの設置等、居室・共有スペースに工夫を行い必要に応じた環境作りを行っている。	

V. サービスの成果に関する項目(目標指標項目)アウトカム項目))(事業所記入)
※項目No.1～55で日頃の取り組みを自己点検したうえで、成果について自己評価します

項 目		取 り 組 み の 成 果			
		ユニットA	ユニットB	ユニットC	
56	職員は、利用者の思いや願い、暮らし方の意向を掴んでいる。 (参考項目:23,24,25)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者の
					2. 利用者の2/3くらいの
					3. 利用者の1/3くらいの
					4. ほとんど掴んでいない
57	利用者と職員が一緒にゆったりと過ごす場面がある。 (参考項目:18,38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. 毎日ある
					2. 数日に1回程度ある
					3. たまにある
					4. ほとんどない
58	利用者は、一人ひとりのペースで暮らしている。 (参考項目:38)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
59	利用者は、職員が支援することで生き生きとした表情や姿がみられている。 (参考項目:36,37)	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
60	利用者は、戸外の行きたいところへ出かけている。 (参考項目:49)				1. ほぼ全ての利用者が
					2. 利用者の2/3くらいが
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない
61	利用者は、健康管理や医療面、安全面で不安なく過ごせている。 (参考項目:30,31)				1. ほぼ全ての利用者が
		<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	<input type="radio"/>	2. 利用者の2/3くらいが
					3. 利用者の1/3くらいが
					4. ほとんどいない

項目		取り組みの成果			↓該当するものに○印をつけてください	
		ユニットA	ユニットB	ユニットC		
62	利用者は、その時々々の状況や要望に応じた柔軟な支援により、安心して暮らしている。 (参考項目:28)	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
63	職員は、家族が困っていること、不安なこと、求めていることをよく聴いており、信頼関係ができています。 (参考項目:9,10,19)	○		○	1. ほぼ全ての家族と	
					2. 家族の2/3くらいと	
					3. 家族の1/3くらいと	
					4. ほとんどできていない	
64	通いの場やグループホームに馴染みの人や地域の人々が訪ねて来ている。 (参考項目:2,20)				1. ほぼ毎日のように	
					2. 数日に1回程度ある	
					○ ○ ○	3. たまに
					4. ほとんどない	
65	運営推進会議を通して、地域住民や地元の関係者とのつながりの拡がりや深まりがあり、事業所の理解者や応援者が増えている。 (参考項目:4)	○	○	○	1. 大いに増えている	
					2. 少しずつ増えている	
					3. あまり増えていない	
					4. 全くいない	
66	職員は、生き活きと働いている。 (参考項目:11,12)	○		○	1. ほぼ全ての職員が	
					2. 職員の2/3くらいが	
					3. 職員の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
67	職員から見て、利用者はサービスにおおむね満足していると思う。	○	○	○	1. ほぼ全ての利用者が	
					2. 利用者の2/3くらいが	
					3. 利用者の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	
68	職員から見て、利用者の家族等はサービスにおおむね満足していると思う。				1. ほぼ全ての家族等が	
					○ ○ ○	2. 家族等の2/3くらいが
					3. 家族等の1/3くらいが	
					4. ほとんどいない	